

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立長坂小学校 第6学年，全児童
実施児童数（71人）

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び算数。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 58.6／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。また、低位側の差が大きい。
平均正答率（本校 39.4／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問	
<p>【漢字の読み書き】</p> <p>○他の設問に比べ全体的に健闘している。 1二（1）は全国を上回る。（98.5/97.8）</p> <p>【言語についての知識理解】に課題</p> <p>○故事成語の意味と使い方を理解する。 2一二 故事成語の使い方として適切なものを選択する。一（42.6/55.8） 二（36.8/49.9）</p> <p>○国語辞典を使って言葉の意味と使い方を理解する。 8 ことばの意味と使い方をとらえ適切なものを選択する。（51.5/74.3）</p>	<p>【書くこと】に課題</p> <p>○情景描写の効果をとらえること 3 情景描写を正しく理解し適切なものを選択する。（36.8/58.7）</p> <p>○複数の事柄を並列の関係で書くこと 6一 「～たり，…たり」とう表現に直して書く。（42.6/74.9）</p> <p>○仮定の表現として適切なものをとらえる。 6二 文の意味のつながりとらえ適切なものを選択する。（66.2/83.1）</p>	

国語B	特徴がみられた設問	
<p>【読んで理解すること、また、そのことを書くこと】に課題</p> <p>○立場を明確にして質問や意見を述べる。 1三 質問や意見を限られた字数で書く。（14.5/28.3）</p> <p>○分かったことや疑問に思ったことを整理して、それらに関係づけながら書く。 2二 付箋の内容を関連づけまとめて書く。（2.9/26.9）</p> <p>○課題を解決するために、目次や索引を活用して本を効果的に読むことができる。 2三 疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く。（39.1/66.0）</p>	<p>○二つの詩を比べて読み表現の工夫を捉える。 3一（2） 詩の表現の特徴として適切なものを選ぶ。（39.1/59.2）</p> <p>○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。 3三 詩1と詩2を比べて読み、考えたことを書く。（30.4/48.1）</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	46.5	59.2	○	12.7
国語の勉強は大切だと思いますか。	85.9	91.8	◇	5.9
国語の授業の内容はよく分かりますか。	70.5	80.1	◇	9.6
読書は好きですか。	71.9	73.0		1.1
国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。	80.2	87.4	◇	7.2
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか。	40.9	61.4	○	20.5
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	42.3	58.5	○	16.2
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。	47.9	70.7	○	22.8
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか。	69.0	75.8	◇	6.8
A 問題の解答時間は十分でしたか。 (「余った」「ちょうどよい」の合計)	88.7	85.5		3.2
B 問題の解答時間は十分でしたか。 (「余った」「ちょうどよい」の合計)	64.8	50.6	○	14.2

* 上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

- 国語学習について、一定大切で必要なことであるという意識の割合は低くないが、好きと感じている割合は低い。
- 自分の考えを話したり書いたりすること、そのために組み立てを考えたり理由を組み込むなどといった、言語活動に対する項目の回答がかなり低い。
- 「国語の勉強は好きか」「授業内容はよくわかるか」「読書は好きか」の回答が低い。
- B 問題の解答時間に余裕を感じている割合が国に比べて高い。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国の右上がりに対して、13問を頂点に山形となり上位層が少ない。

平均正答率（本校 62.5／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国に比べ低位側にふくらみ、上位層が少ない。

平均正答率（本校 39.6／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>○割合で、比較量を求める問題 2（1）基準量に割合を乗じると比較量になる式を選ぶ。 (51.5/71.9)</p> <p>○分数の大きさを比較する問題 3 1/2より大きい分数を選ぶ。 (44.1/72.5)</p> <p>○単位量あたりの大きさを求める問題 4（2）8㎡に16人いる部屋の1㎡あたりの人数を求める。 (38.2/60.8)</p>	<p>○円周を直径を用いて求める問題 5（1）直径6cmの円の円周を求める。 (57.4/83.9)</p> <p>○体積の単位（1cm³）と測定についての問題 5（2）1cm³の立方体を使って直方体の体積を求める。 (52.9/81.1)</p> <p>○作図に用いる図形の約束や性質を理解する問題 6 コンパスを使った平行四辺形のかき方を選ぶ。 (38.2/52.0)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>○解き方を記述して説明する問題 1（2）37×24の積が888になることを説明する。 (37.7/55.2)</p> <p>2（2）棒グラフにして表すとき、枠に入らないわけをことばと数を使って説明する。 (33.3/69.1)</p> <p>3（3）スープを分ける時、はじめにやりかけた方法で最後までできるか、その方法を選び説明する。 (13.0/30.6)</p>	<p>5（3）使いやすいはしの長さの目安をもとに求め方をことばや式を使って書く。 (15.9/33.0)</p> <p>○割合・倍に関する問題 3（2）40人分のご飯を分ける時に10人分の目安を表す図を選ぶ。 (30.4/56.7)</p> <p>5（2）使いやすいはしの長さの目安を示した図を選ぶ。 (27.5/46.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか。	60.6	66.1	◇	5.5
算数の勉強は大切だと思いますか。	86.0	92.3	◇	6.3
算数の授業の内容はよく分かりますか。	74.7	79.6		4.9
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。	76.1	77.3		1.2
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	70.4	78.1	◇	7.7
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	59.2	66.3	◇	7.1
算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。	83.1	89.0	◇	5.9
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	71.9	79.4	◇	7.5
算数の授業で公式やきまりを習うと、そのわけを理解するようにしていますか。	71.8	81.3	◇	9.5
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるように、ノートに書いていますか。	60.6	83.4	○	22.8
A 問題の解答時間は十分でしたか。 (「余った」「ちょうどよい」の合計)	91.6	89.4		2.2
B 問題の解答時間は十分でしたか。 (「余った」「ちょうどよい」の合計)	80.3	76.4		3.9

*上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

- 算数の学習が、一定大切で将来役立つという意識の割合は低くないが、好きと感じている割合は低い。
- 算数の授業において、公式やきまりのわけを考える意識が高くない。
- 日ごろから解き方や考え方がわかるようにノートに書いている割合が低い。
- 分からないとき、あきらめずに他の方法を考えるとか、より簡単な方法を考えるなど、柔軟に対応、努力する割合が高くない。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を挙げている。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
家庭・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ○就寝起床の規則性が弱い。 ○TV やケータイ/スマホの使用時間が長い。 ○新聞を読むこと、ニュース番組を見ることが少ない。 ○地域に対する関心が低い。 ○自尊感情・自己肯定感が高くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日同じくらいの時刻に寝ている。(54.9/79.2) ○毎日同じ時刻に起きている。(74.7/90.9) ○1日にどれくらいTVやビデオ・DVDを見るか。(3時間以上 59.1/38.0) ○1日にどれくらいTVゲーム(ケータイ,スマホ等含む)をするか。(3時間以上 29.6/17.0) ○1日にどれくらいケータイ,スマホ等で通話やメール,インターネットをするか。(3時間以上 16.9/5.0) ○新聞を読んでいる。(18.3/27.1) ○ニュース番組(インターネット含む)を見る。(78.8/84.9) ○住んでいる地域の行事に参加する。(54.9/68.0) ○地域や社会の問題や出来事に関心がある。(50.7/62.9) ○自分にはよいところがあると思う。(62.9/76.1)
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題を含む家庭学習の取り組みが弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で計画をたてて勉強する。(45.1/61.0) ○学校の授業の復習をする。(32.4/54.0) ○学校の授業の予習をする。(35.2/43.2) ○学校の宿題をする。(91.6/96.5)
学校生活・学習	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習の取り組みが弱い。 ○授業における目標設定,話し合い活動,振り返り活動が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習で,自分で課題を立て情報収集,整理,発表するなどの活動に取り組んでいる。(35.2/63.8) ○5年生までの授業では話し合う活動をよく行っていた。(74.7/84.9) ○5年生までの授業では授業のはじめに目標が示されていた。(74.6/82.0) ○5年生までの授業では最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。(66.2/71.9) ○学級の友だちと話し合う活動を通じて,自分の考えを深めたり広げたりすることができている。(53.5/65.9)

本校の取組み

◎これまでの取組み

1. 基礎基本の学力の定着

◇長坂タイム（始業前10分 50分/週）の取組み

国語（漢字、音読など）学習

◇学習規律の確立「長坂小みんなの学習ルール」「聞きとり名人あいうえお」

話す、聞くなど適切な学習態度・行動を促す。

◇短時間集中計算

授業始めにフラッシュカードを使った短時間集中型の計算練習

◇ノート指導

見やすいノートの基準を示し、ていねいにノートを書く習慣をつける。

◇わくわく学習会

週1回、放課後学習会（希望参加）を設定、集中して学習する姿勢を身につけ、算数の基礎基本問題を解き、自分の課題を克服していく。

2. TT（チームティーチング）、少人数指導・少人数習熟度別指導

◇学習内容によって、学びの形態を変え、よりわかりやすい授業、個別課題に対応する授業を行う。

3. 宿題・家庭学習の徹底

◇家庭学習の習慣化を促す「家庭学習の手引き」

家庭での基本的な学習態度を示し、定期的に「宿題ばっちりウイーク」を設定し、家庭でも評価してもらう。

4. 指導力の向上

◇「聞く、話す」の力を高めるために（国語科の授業研究を通して）

基礎基本の学力をもとに、実際に課題を解決していく手立て（活用力）を高めていくため、「人の話を主体的に聞く」「自分の意見を人にわかるように話す」といった力をつける言語活動を研究・実践する。

◇「わかる授業」づくりのスキルを高める

上記の研究と並行して教室環境の整備、授業のめあての明示と自己評価、板書の工夫、聞きやすい説明の方法、意欲を高める評価方法など、実践交流を行い、研究通信により情宣する。

◇学力向上アドバイザーの配置

子どもの学習相談や課題のフォロー、職員の授業力アップに資する人材の活用により、学力課題に対する組織的取組み支援と個別支援をすすめる。

5. 学級集団づくり

◇子どもたちの人間関係を把握し、安心して自分が出せ、ともに学習していく学級経営の研究と実践を行う。

◎これからの取組み

本調査結果と上記取組みの検証をもとに、「わかる授業」づくり・授業のスタンダードを再構築し、それぞれの取組がより有機的に結びつき実践できるように来年度に向けて学校体制を整える。

基本方針と主な具体策

◇基礎学力の定着をめざす。

集中力と意欲を持続させるため、実生活と結びついた計算や漢字の教材を用いる。

◇活用力を身につけるため言語活動を充実させる。

ホワイトボードを活用し、主体的に聞く、考えを表し交流する、まとめるなどの活動を位置づける。

◇情緒の安定した、仲間と共に学力を高める学級集団づくりをすすめる。

日常生活で起こる問題を自分たちで解決していく方法を理解し、実践する学習を位置づける。